

令和3年度「学校評価」結果の報告

本年度の「学校評価」は、生徒、教職員はもちろん、地域の方々や保護者の皆様にも、それぞれのお立場から本校の学校教育活動を評価していただき、その結果の分析を通して成果や課題を明らかにするとともに、必要度・緊急度の高い活動、また教育効果の高い活動や改善が必要な活動を洗い出すことで、次年度の学校教育活動の活性化につなげることを目的とし実施しました。

今年は12月中に調査を行い、1月下旬にその結果がまとまりましたので、分析結果と今後の対応等について報告いたします。

1 全体として

生徒・教職員に加え地域の方々や保護者、計1150名に調査を依頼し、回収率は約92%1053名と多くの方々から御回答いただきました。大変ありがたいことだと思っております。

4段階の評点による平均値で見えますと、各項目について概ね学校の状況や対応を支持・支援して下さる意見が多かったと捉えております。

しかしながら、項目ごとの比較はもちろん学校と地域の方々、更には同じ学校の中でも教職員と生徒・保護者などの集団間の比較では、思いや捉え方に違いが見られるものもあります。これらの結果を軽視することなく真摯に受け止め、改善への努力をしていかなければと感じております。

2 分析結果について

生徒及び保護者アンケートの結果では、半数以上の項目において前年度同等、又はそれを上回る高い評価でありました。

中学校や学校評議員、同窓会アンケートの結果においては、「学校は挨拶について適切に指導している」や「学校は整容について適切に指導している」などの項目において、昨年度と同様に高い評価をいただきました。また、全体において、「あまり思わない」「思わない」の割合が減少したことは、大変喜ばしいことであると捉えております。

しかし、残念なことに地域の方々アンケートの結果では、昨年度を大きく下回る評価項目も見られました。

全体と比較して「あまり思わない」「思わない」の割合が高い項目は、生徒においては「学校行事（運動会、学校祭など）が充実している」「体験活動（インターシップ、課題研究など）が充実している」、教職員においては「生徒は文武両道を目指している」「生徒はキャリアプランをもって学校生活を送っている」「学校は多忙化解消や仕事の効率化に努めている」、保護者の皆様においては「学年やクラスからの情報が適切に提供されている」でありました。

また、地域の方々の結果においては、「挨拶について適切に指導している」「自転車の乗り方などの交通ルールについて適切に指導されている」などにおいても大変厳しい評価をいただきました。今後の課題として、改善への努力が必要な項目と考えます。

3 今後の対応について

学校といたしましては、昨年度までの学校評価の結果を踏まえ、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努めながら課題の改善に向けて様々な取組を進めてきたところではありますが、その成果が評価に反映されたものもあれば、そうでないものも見られました。

学校が取り組んでいるつもりでも関係の皆様には伝わらないとすれば、その取組は不十分であり、周知の方法も含め見直す必要があると考えます。

また、アンケート項目によっては、単に数値が高ければ良いというのではなく、「学校はいじめ防止に適切に取り組んでいる」や「学校は体罰のない指導を行っている」などの項目は、関係者の皆様の御協力をいただきながら、組織的な取組を一層充実させることで、否定的な回答ゼロを目指すべきものです。

今後、各項目の結果を更に詳細に分析し、関係分掌において今後の対応を検討し改善に取り組んでまいりたいと思います。

今後も、家庭や地域社会と学校との相互理解に基づいた学校運営を通して、地域に根ざした学校の一層の推進を図ってまいりたいと思っておりますので、引き続き本校の教育活動に対する御理解と御協力をいただければ幸いです。